令和3年度 最適整備構想（施設監視5年計画）策定実習のご案内

本実習は、農業集落排水施設における最適整備構想（施設監視5年計画）（いわゆる簡易版）の基本的な作成手法の習得を目的に、市町村や土地改良事業団体連合会の担当職員等を対象として、（一社）地域環境資源センターが開催するものです。

具体的な実習内容は、農林水産省でとりまとめた「農業集落排水施設におけるストックマネジメントの手引き（施設監視編）」、「最適整備構想（施設監視5年計画）作成要領」、「はじめての農業集落排水施設の施設監視ハンドブック」を活用して、最適整備構想の策定方法を説明した後に、参加者の持参した資料を基に最適整備構想の策定を実習するものです。

本実習は、ストックマネジメントに取り組まれる担当者の実務に活かせるよう、より実践的なカリキュラムとなっています。また、年度別対策費の実績管理がし易い「5年構想」は、より実状に近く、ハード事業を見据えても活用し易くなっていますので、積極的なご参加をお待ちしております。

1. 実施要領

（1）実施期間 ： **令和3年10月14日（木）・10月15日（金）**

（2）研修会場 ：（一社）地域環境資源センター6F（会議室）（別紙「会場案内図」参照）

東京都港区新橋5丁目34-4

（3）受講対象者 ： 市町村、土地改良事業団体連合会、賛助会員

（4）募集人員及び募集方法 ： 4名程度

参加ご希望の方は、別紙「参加申込書」に必要事項を記入の上、FAX又は郵送で、**令和3年10月1日（金）まで**に、”（7）「参加申込書」送付先及び連絡窓口”にお送りください。お申し込みを受け付けたのち、当方より請求書を送付いたしますので、令和3年11月26日（金）までに、銀行振込又は郵便振替にてお支払いいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

※策定実習受講に当たっては注意点があります。参加申込前に、お読みください。
策定実習受講に当たっての注意点（PDF）

（5）受 講 料 ： 会員・特別会員 ・賛助会員（税込）；16,500円　　一般 ；32,000円

（6）カリキュラム ： 別紙「研修会カリキュラム（案）」を参照

（7）「参加申込書」送付先及び連絡窓口 ： （一社）地域環境資源センター　集落排水部

開発普及班　　小西、松本、村井

〒105-0004

東京都港区新橋五丁目34番4号

TEL 03-3432-6284　　FAX 03-3432-0743

2. その他

（1）CPD登録

本研修会は、農業農村工学会技術者継続教育機構の技術者継続教育（CPD）プログラムとして認定申請予定です。農業農村工学会技術者継続教育機構に個人会員として登録されている方は、当センターから農業農村工学会技術者継続教育機構へ認定プログラムへの参加報告をいたしますので、申込書の所定の欄に会員IDをご記入ください。

（2）昼食について

昼食は、各自、近くの飲食店又は弁当等にてお取りください。

（3）テキストについて

本研修会のテキスト代は受講料に含まれています。
テキストは、当日に研修会場で配布いたします。

（4）「農業集落排水施設におけるストックマネジメントの手引き（施設監視編）」、「最適整備構想（施設監視5年計画）様式・作成要領」、「はじめての農業集落排水施設の施設監視ハンドブック」は以下のホームページアドレスに掲載
http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/nn/n_nouson/syuhai/180601.html

（5）新型コロナウイルス感染症に係る状況によっては、本研修会を中止する場合があります。

策定実習受講に当たっての注意点

策定実習受講に当たっては以下の注意点があります。参加申込前に、お読みください。

１．受講者に準備してもらう資料

（１） 施設の機能診断結果を集約したもの

【別紙1】を参考に「施設機能診断調査」の結果を策定実習受講前に整理し、持参お願いします。

目視調査など簡易な手法を用いて調査を実施した場合も、可能な限り健全度（S-〇）評価を決定してください（空欄の場合は、当日設定していただくことになります）。

（２） 農業集落排水施設の機能保全等計画概要

【別紙2】が既に整理されている場合は持参お願いします。ない場合は、この内容を整理できる資料を持参お願いします。

（３）各処理区（処理施設）の処理方式（JARUS-〇型など）が分かる資料

（４） 機能保全対策コスト

【別紙3】を参考に、機能保全コストを決めておくことが必要です。
下記のいずれかの方法で、(1)の資料で集約した施設について、健全度評価ごとに機能保全コスト（工事単価）を設定してください。

機能保全コスト（工事単価）が未設定の場合は、仮設定の単価で実習を進めていただくことになります。

機能保全対策コスト（千円）の採用については、計画主体（市町村）において以下の対応が考えられる。
いずれの方法をとる場合において、計画主体の判断で採用根拠を明確に整理しておくこととする。

１）市町村が独自にとりまとめている単価に基づき採用する。
２）当該県（または、近隣の他県）が公表している単価に基づき採用する。
３）計画策定年度に専門業者等に依頼した見積単価に基づき採用する。
４）過年度に行った見積単価を精査（支出済換算係数※）を乗じて計画策定年度の単価に補正）した上で採用する。
５）当該年度に工事実施中の他地区の単価を適用し、採用する。
６）過年度に工事実施した他地区の単価を精査（支出済換算係数※）を乗じて計画策定年度の単価に補正）した上で採用する。
７）維持管理業者等に聞取り調査した単価を採用する。
８）平成・令和〇〇年度〇〇に基づき聞き取った単価を採用する。
９）Ａ地区の〇年度単価の例を採用する。
10）〇年から〇年の機能強化実施地区平均値の単価を採用する。
11）平成・令和〇〇年度 資材価格調査表（市販）の価格について施設規模を勘案し補正した単価を採用する。

※）支出済換算係数は、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」（農林水産省農村振興局企画部長通知）により毎年度通知される。

（５） 従来版の最適整備構想（策定している場合のみ）

※(1)～(5)の資料はパソコンのハードディスクに保存して来ることも可。但し、受講中にセンターでプリントアウトは出来ません。

（６） ノートパソコン、パソコン用ACアダプター

（最適整備構想（施設監視5年計画）様式のエクセルファイルが策定実習前にダウンロードされており、その様式が動作すること。また、様式は前頁の2．その他(4)に記載したホームページアドレスよりダウンロードしください。）

２．参加希望者多数の場合の対応

参加希望者が多数の場合、以下の条件に該当する方を優先します。

そのため、受講者の決定は令和3年10月1日(金)までに連絡させてもらいます。

（優先条件）

〇市町村

〇従来版（40年間）の最適整備構想を策定していない方

〇汚水処理施設数の少ない方

策定実習受講に当たっての準備（フロー図）

機能診断	「機能診断業務」　又は　「簡易な手法による調査」

最適整備構想（従来版）
が既に策定されている場合

準備作業	（１）施設機能診断調査の結果整理 【別紙1】を参考に整理 ⇩ 以下の情報整理を行う。 （２）汚水処理の概要、集排施設の概要の整理 【別紙2】を参考に整理 （３）処理方式についての情報整理 ⇩
	（４）機能保全コストの準備 【別紙3】を参考に整理　※

⇩

策定実習	最適整備構想（簡易版）の策定　作業 実習内容はカリキュラム参照 ⇩ 最適整備構想（簡易版）完成 又は　策定手順の習得 （完成までの道筋が見える状態）

※機能保全コスト（工事単価）が未設定の場合、実習当日は仮設定の単価で実習を進めていただくことになります。そのため、実習においては策定手順の習得までとなり、後日改めて機能保全コストを自身で設定していただくことになります。

【別紙１】

表-1　施設機能診断調査の対象施設

地区	施設分類	施設仕様	数量	単位	調査結果	変状	劣化要因
○○○地区	管路施設 (管路施設) 自然流下式	VU200	240.56	m	S-4		
		VU150	427.99	m	S-4		
		VU150	924.62	m	S-5		
		VU200	579.94	m	S-5		
		RC1号	53	基	S-5		
		RC1号	18	基	S-4		
	管路施設 (管路施設)　圧力式	RC1号	2	基	S-5		
		T-20	2	個	S-5		
	管路施設 (中継ポンプ施設) 機械設備	No.1(MH1)中継ポンプNo.1	1	基	S-5		
		No.1(MH1)中継ポンプNo.2	1	基	S-5		
		No.2(MH11)中継ポンプNo.1	1	基	S-5		
		No.2(MH11)中継ポンプNo.2	1	基	S-5		
	管路施設 (中継ポンプ施設)電気設備	No.1(MH1)中継ポンプ制御盤	1	面	S-2		
		No.2(MH11)中継ポンプ制御盤	1	面	S-2		
	汚水処理施設 (鉄筋コンクリート構造物) 鉄筋コンクリート	前処理施設スクリーン水路	2.8	㎡	S-5		
		前処理施設ばっ気沈砂槽	16.6	㎡	S-5		
		原水ポンプ槽	48.5	㎡	S-3		
		流量調整槽	155.8	㎡	S-3		
		嫌気性ろ床槽(第1室)	157.1	㎡	S-3		
		嫌気性ろ床槽(第2室)	157.1	㎡	S-3		
		・・・					
	汚水処理施設 (鉄筋コンクリート構造物) 表面被覆	前処理施設スクリーン水路	2.8	㎡	S-5		
		前処理施設ばっ気沈砂槽	16.6	㎡	S-5		
		原水ポンプ槽	48.5	㎡	S-5		
		流量調整槽	155.8	㎡	S-5		
		嫌気性ろ床槽(第1室)	157.1	㎡	S-5		
		嫌気性ろ床槽(第2室)	157.1	㎡	S-5		
		原水ポンプ　A	1	基	S-4		
		原水ポンプ　B	1	基	S-4		
		流量調整ポンプ　A	1	基	S-3		
		流量調整ポンプ　B	1	基	S-4		
		水中撹拌ポンプ　A	1	基	S-3		
		水中撹拌ポンプ　B	1	基	S-4		
		自動微細目スクリーン　A	1	基	S-4		
		自動微細目スクリーン　B	1	基	S-4		
		し渣脱水機	1	基	S-3		
		汚水計量槽	1	基	S-4		
		嫌気性ろ床槽接触材(第1室)	1	基	S-4		
		嫌気性ろ床槽接触材(第2室)	1	基	S-4		
		嫌気性ろ床槽撹拌装置(第1室)	1	基	S-4		
		・・・					
	汚水処理施設 (機械・電気設備) 電気設備	動力制御盤	1	面	S-3		
		計装盤	1	面	S-3		
		現場操作盤LP-1	1	面	S-3		
		現場操作盤LP-2	1	面	S-3		
		高圧受電盤	1	面	S-3		
		室内照明（蛍光灯）	1	式	S-4		

【別紙２】

【　記　載　例　】

農業集落排水施設の機能保全等計画概要　　（平成/令和○年○月作成）

１．汚水処理の概要（農業集落排水施設以外も含む）

都道府県名 市町村名	現況（H/R○年度）			将来（H/R○年度）		
	行政人口	汚水処理人口	普及率	行政人口	汚水処理人口	普及率
○○県○○町	○○　人	○○　人	○　％	○○　人	○○　人	○　％

２．農業集落排水施設の概要

地区名	処理区名	供用開始	計画人口（H○年度）	現在供用人口（H/R○年度）	将来計画人口（H/R○年度）	機能診断
A地区	○○処理区	H○年○月	○○　人	○○　人	○○　人	H○年度
B地区	○○処理区	H○年○月	○○　人	○○　人	○○　人	R○年度予定
C地区	○○処理区	H○年○月	○○　人	○○　人	○○　人	－
D地区	○○処理区	H○年○月	○○　人	○○　人	○○　人	－
E地区	○○処理区	建設中	○○　人	○○　人	○○　人	未定
合　計			○○○　人			

３．農業集落排水施設の機能保全対策・再編計画の概要

最適整備構想	
再編計画	

地区名	処理区名	内容	対策費用

省　　略

４．農業集落排水施設の再編に関する事項

（１）施設再編による維持管理費の削減目標（再編予定の農業集落排水施設がある場合）

（２）施設再編を計画しない理由（再編予定の農業集落排水施設がある場合）

省　　略

添付資料

【別紙３】機能保全対策コスト（例）

管路施設　実施シナリオ　（円/m）

	管径 （mm）	健全度 S-3	健全度 S-2	健全度 S-1
管路	VU150 平均掘削深〇m		管更生工法 50,000	布設替え 100,000
	VU200 平均掘削深〇m		管更生工法 60,000	布設替え 120,000

マンホール躯体　実施シナリオ　（円/箇所）

	種別	健全度 S-3	健全度 S-2	健全度 S-1
マンホール 躯体	1号 平均深さ〇m	止水工法 200,000		布設替え 400,000
	2号 平均深さ〇m	止水工法 200,000		布設替え 1,200,000

マンホール蓋　実施シナリオ　（円/m）

	種別	健全度 S-3	健全度 S-2	健全度 S-1
マンホール 蓋	1号T-14			布設替え 150,000
	1号T-25			布設替え 160,000
	2号T-14			布設替え 600,000
	2号T-25			布設替え 700,000

水槽部（鉄筋コンクリート）　実施シナリオ　（円/m2）

	種別	健全度 S-3	健全度 S-2	健全度 S-1
水槽部	はつり・断面補修	5mm 28,000	10mm 32,000	15mm 44,000

	種別	1種	2種	3種
水槽部	防食施工	24,000	29,000	37,000

機械電気設備　実施シナリオ　（円/式）

	種別	健全度 S-3	健全度 S-2	健全度 S-1
機械電気	ばっ気ブロワ	分解整備 500,000		
	ばっ気撹拌装置	分解整備 1,000,000		
	引込開閉器盤 動力制御盤	分解整備 1,000,000		
	その他機械設備			更新 見積価格

令和3年度 最適整備構想（施設監視5年計画）策定実習 カリキュラム

会場 ： JARUS大会議室（農業土木会館6F）

日　時		時間（分）	講義タイトル	主な内容
10/14（木）	13:00～		受付開始	
	13:30～13:35	5	開会挨拶	
	13:35～13:40	5	オリエンテーション	
	13:40～14:10	30	最適整備構想（施設監視5年計画）の概要	○手引き（施設監視編） ○作成要領 ○ハンドブック ○ストックマネジメントの手引き（案）
	14:10～14:30	20	策定に当たっての準備と簡易版計画の更新について	・必要な作業データの確認 ○手引き（施設監視編）
	14:30～17:00	180	実習	・最適整備構想（施設監視5年計画）作成 ・様式13号の整理 （質疑応答適宜）
	17:00～17:30	30	意見交換・質疑応答	各自の課題や工夫点の共有
10/15（金）	9:30～10:00	30	維持管理適正化計画の策定に向けて	維持管理適正化計画の概要
	10:00～11:20	80	実習	・最適整備構想（施設監視5年計画）作成 ・様式13号の整理 ・簡易版計画の更新 （質疑応答適宜）
	11:20～11:50	30	意見交換・質疑応答	各自の課題や工夫点の共有 実習全体を通じての質疑応答等
	11:50～12:00	10	閉会挨拶	

※　時間配分や講義内容については、変更する場合がありますのでご了承願います。

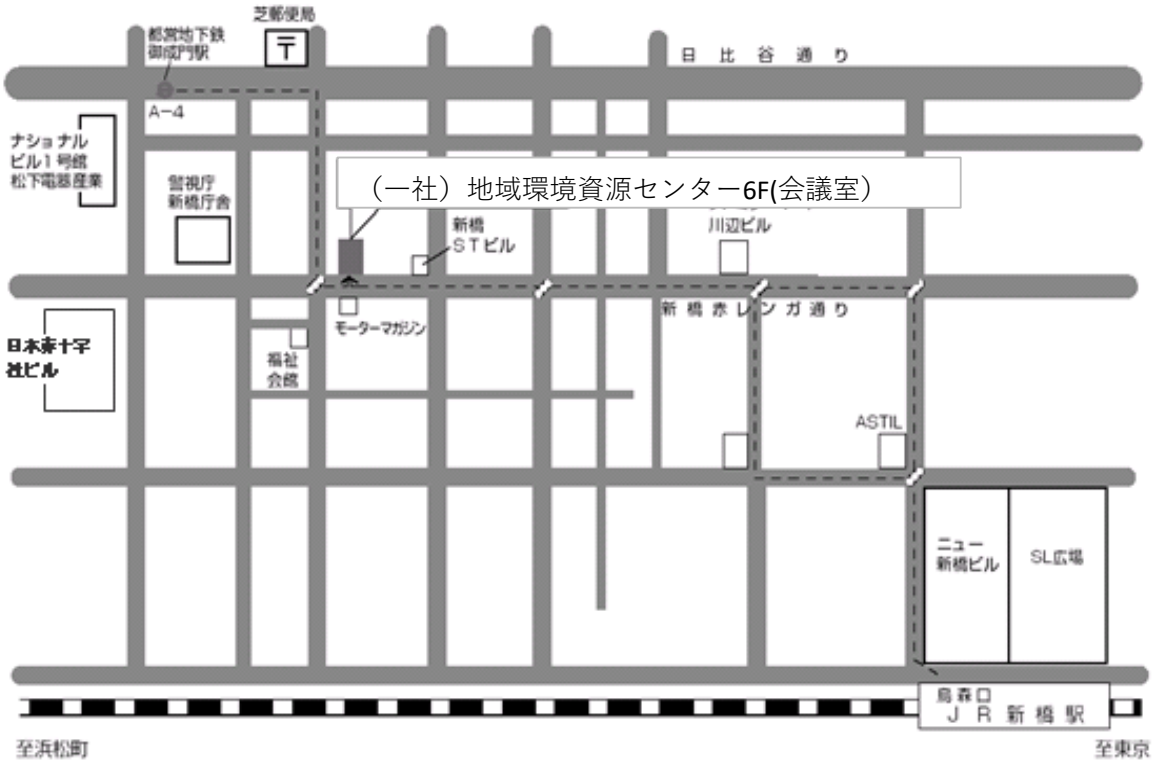
会場案内図

令和3年度 最適整備構想（施設監視5年計画）策定実習

1. 研修会場

（一社）地域環境資源センター6F（会議室）　東京都港区新橋5丁目34-4

2. 会場案内図



－　最寄り駅からの所要時間　－

〇JR新橋駅・烏森口より徒歩10分、JR浜松町駅より徒歩15分

〇地下鉄　都営三田線 御成門駅・A4出口より徒歩5分

〇地下鉄　都営浅草線 大門駅・A4 A5出口より徒歩10分

令和３年度 最適整備構想（施設監視５年計画）策定実習

参 加 申 込 書

一般社団法人　地域環境資源センター　集落排水部　担当　宛

FAX　03－3432－0743

申込締切日　令和3年10月1日（金）

申込日 ：　　月　　日

勤務先所在地　〒				TEL・FAX 番号
				ＴＥＬ ：
勤務先名　称				ＦＡＸ ：
所属部署（部・課名）		役 職 名	氏　　名	CPD会員ID
従来版（40年間）の最適整備構想策定の有無			有・無　※〇印を付けてください	
実習予定の最適整備構想に含まれる汚水処理施設数			施設　※施設数を記入してください	
必要書類	請求書 ・ 見積書 ・ その他（　　）　※〇印を付けてください			
必要書類宛名				
通信欄				